五城目町広報

発行及び編集人
秋田県五城目町役場
総務課
電話（五）501～5
印刷所 湖東印刷所

10月臨時町議会終る

追加更正予算額八三七万円

駅前道路舗装費 農山漁村建設総合対策費など

昭和三十五年十月十三日五城目町臨時議会が、招集された。今議会には一般会計及び特別会計の追加更正予算等重要な案件が提出されているので、会期も八日間の長期にわたり活発な討論、慎重な審議を重ねたうえ、それぞれ次のような事件が議決された。

① 立木の売買契約締結について（同様契約五件）

② 工事請負契約の締結について、（高田、千日に布設する簡易水道布設工事）

③ 町起債について（上水道事業費に充当するもの、金額二千万円）

④ 道路用地の取得について（都市計画事業山の手線道路改良用地）

⑤ 墓地の処分について（寺院の境内墓地をその寺院に対して譲渡するもの対象寺院は九寺二院、合計面積七反三畝一〇歩）

⑥ 町税賦課徴収条例の一部改正、（所得割の減税、扶養控除額の引上げによる減税）

⑦ 上水道給水条例の一部改正（基本料金一〇立方米当り二五〇円、超過料金一立方米につき二五円）

⑧ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（国、県が任命する統計調査員に対する規定を削除）

⑨ 町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（議長四千五百円を六千円に、議員三千五百円を五千円に、期末手当月額の百分の二百）

⑩ 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正（給料表の改正、これによる一人当りの平均増額四六九円）

⑪ 一般会計予入才出追加更正予算（追加金額、八、三七〇、〇八一円）

⑫ 第一中学校建設特別会計予入才出追加更正予算（追加金額五六、〇〇〇円）

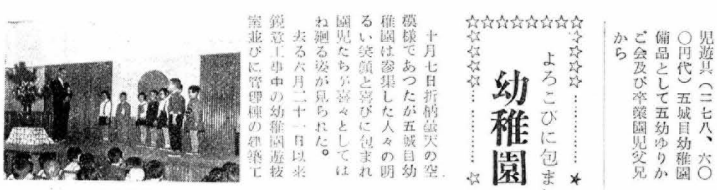
⑬ 林野特別会計予入才出追加更正予算（追加金額一、一一、五四〇円）此の予算中小川口林道工事に伴う町負担金及び調査設定手数料の是否について活発なる討論が行なわれ結局採決によって原案どうりに議決になった。

⑭ 水道事業特別会計予入才出追加更正予算（一二、〇〇〇、〇〇〇円の減額）

⑮ 国民健康保険特別会計予入才出追加更正予算（四五、〇〇〇円の減額）

⑯ 併用林道編入申請について、水沢～杉沢線を併用林道として秋田営林局長あて申請するものである。市員三、六〇米延長四、九三〇、〇〇米の自動車道）

⑰ 寄附採納の報告
イ 現金四一、九〇〇円 駅前県道側溝改良事業費として新畑町（代表坂谷千代治）から。
ロ 山葉ピアノ一台及び幼児遊具（二七八、六〇〇円代）五城目幼稚園備品として五幼ゆりかご会及び卒業園児父兄外一名から

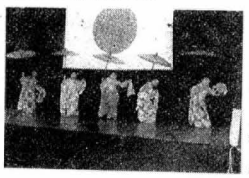


よろこびに包まれる 幼稚園の落成

十月七日折柄晴天の空、落成式を迎えたのである。

模様であったが五城目幼稚園は盛大な人々の明るい笑顔と喜びに包まれ園児たちも嬉々としてはね廻る姿が見られた。

去る六月二十日以来鋭意工事中の幼稚園庭校舎並びに管理棟の建築工事が見事に完工し、その式は無心の園児たちの偽らぬ喜びと明るいユーモアに終始して無事終了した。

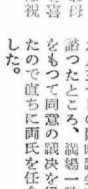


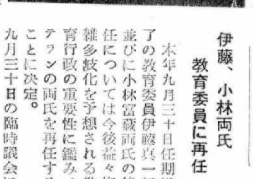
【写真、上は来賓やお母さん達に囲まれ鋏を入れる園児たち、中、下は祝賀会風景】

伊藤、小林両氏 教育委員に再任

本年九月三十日任期満了の教育委員伊藤真一郎並びに小林富蔵両氏の後任については今後益々複雑多様化を予想される教育行政の重要性に鑑みベテランの両氏を再任することに決定。

九月三十日の臨時議会に諮ったところ、満場一致さん達に囲まれ鋏を入れる園児たちの中、下は祝賀会風景】





【写真、上は来賓やお母さん達に囲まれ鋏を入れる園児たち、中、下は祝賀会風景】

町民税の減税を実施

低額所得者に重点

小林委員

伊藤委員

翌十月一日教育委員会が召集され互選の結果伊藤氏は委員長職務代理、小林氏は教育長に決定した。

両氏とも当選同地区出身で伊藤真一郎氏は町村合併前より現在まで教育委員一筋にこの道を歩いて来たベテラン中のベテランで現在森林組合の参事として勤めその温厚な風格で知られている。

小林教育長は議員として長い経歴を持ち特に社会教育面に精通した手腕家で寛放な性格の反面詩人議正として著名である。

このたび国治省の通達によって国税及び地方税を通じて、ひろく国民大衆農山漁家、中小工業者、中小所得者の負担を軽減すると共に国民生活の安定向上とあわせて勤労と事業の奨励を増進し、中小商工業者の振興と企業の体質改善などをはかる目的で、税法の改正が行われたが、当町においても、極う大な赤字も、町民各位の理解ある協力を得てすでにその八〇%を解消し、財政建直しの明るい見通しがついた関係から町民負担の軽減にふみきり、町税条令を改正し、町民税の所得割を減税するため、税率を引下げ（所得額の多かによる率）また、扶養親族の数に応ずる控除額の引上げを行なう事となった。

1, 課税所得一〇万円以下の者の税率を三〇円に引上げた。この額は本年度町民税第四期の税額で調整することになるが、すでに納付済に対しては還付の手続きをとる事になる

2, 貸付金額 増築する住宅部分の標準建設費の七割以内、模様替の場合は標準建設費の三割五分以内

3, 利率 年五分五厘 元金均等払込荷

4, 償還 元金均等払込荷

事務改善と資産評価 役場で二つの研究会

湖東自治会では役場事務を各部門毎にわけて、湖東部各町村輪番で研究部会を開いているが、今月は五城目町役場を会場として「役場事務の能率化」と「固定資産評価の実際」二つの研究部会が開かれた。事務の能率化の研究部会は去る十月四日県地方課から加賀谷係員を招き各町村からは助役、総務課長等が出席して、それぞれの町村の実態について聴取し、事務の改善について研究討議し、又固定資産評価の実施研究会は十月十二日各町村税務課長、係員が参集し、県地方課からは小林主事の出席を得て固定資産評価の実施について

【写真は自治研究会】

お知らせ

▼家屋増築融資を受付けます（第二回）

一、受付期間 十月十日より十一月二十一日まで

二、受付機関 秋田銀行信託部秋田相互銀行

三、貸付条件
1, 融資面積 七坪方米（二坪）以上三〇坪方米（九坪）未満
2, 貸付金額 増築する住宅部分の標準建設費の七割以内、模様替の場合は標準建設費の三割

◎日光東照宮、鬼怒川温泉、塩原温泉、那須温泉等参拝と観光の旅 元金均等払込荷

期間 五泊六日
経費 五、九〇〇円程度

出発日 十一月五日（列車の関係で若干変更になるかも知れない）

締切 十月二十九日

申込先 住民課民生係

◎日光東照宮、鬼怒川温泉、塩原温泉、那須温泉等参拝と観光の旅の詳細は係にお尋ね下さい

秋季交通安全運動始まる

尊い生命を守るために

五城目警察署管内の交通事故は九月末現在ですでに六十一件にのぼり、これによって尊い生命を失った人が一人、傷ついた人が五十二人の多数にのぼっている。

これを昨年同期とくらべると十六件多く、車輌り数も8増しに増加し、このまゝの状態では前途に憂慮すべきものがあります。

このような交通事故をなくして明るい社会生活を築くために、今年も来た十月二十一日から三十日までの十日間全国的に秋季交通安全運動を実施することになった。

この運動は道路を使用するすべての人が参加して町ぐるみ、村ぐるみの運動をすすめることによってその成果が期されるのであり、皆さんのご協力をお願いいたします。

今回実施する安全運動の重点は

1, 交通規則が新しくなるのでみんなに良く知っていただきそれを実施する
2, 歩行者は右側を、自転車乗りは左側を通行
3, 自動車などは運転するときは安全であることを確認の上運転する
4, 道路は歩行者、自動車などの通行のじゃまにならないようにする

の四つをとり上げ、明年に控えた国体開催地にふさわしい交通道徳を身につけるよう協力方をおねがい致します。

戦争のぎせいとなられたわが夫わが父わが兄弟そしてわが子の今は冒葉なき霊として、靖国の社に神しづまりますみ前に謹しく拳を合せ、その後の一家の消息を心静かにお告げする遺族参拝団は毎年実施しておりますが今年も左記の通り実施しますから御登録者は申こみ下さい。

申こみ先 住民課民生係

締切 十月二十九日

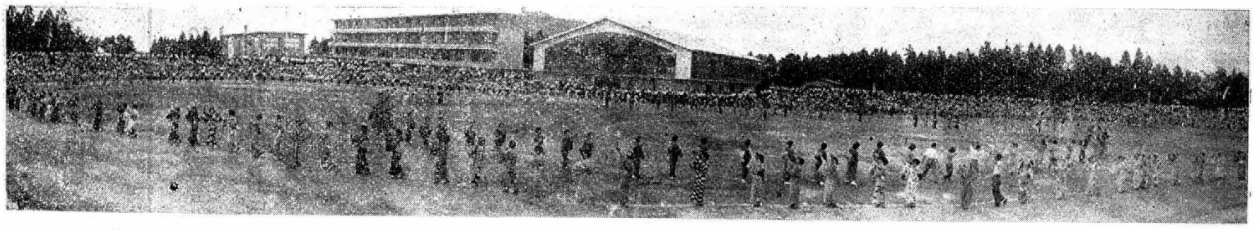
出発日 十一月五日

◎日光東照宮、鬼怒川温泉、塩原温泉、那須温泉等参拝と観光の旅の詳細は係にお尋ね下さい

▼靖国神社参拝団を募集します

月払又は二ケ月払（当初の償還元利金は一月三〇〇〇円程度

四 償還の、要件 その他については受付機関又は役場住宅係に問合せ下さい



盛り上る健民運動
全町体育の祭典開く

9月18日 第一中グランド

☆…国体開催を一年後にひかえ、全町民こぞつて「健民…☆
☆…運動」の推進を合言葉にし、より一層の融和親睦を…☆
☆…深める意義を含めて合併後始めての試みである「全…☆
☆…町体育祭」は、グランド竣工をも兼ねて去る九月十…☆
☆…八日新装成つた第一中学校グランドに於いて盛大に…☆
☆…催された。…☆

気づかわれた天候もからりと晴れ前日中学校職員と生徒がわが町の体育祭のために、涙ぐましいまでの献身的なグランド整備奉仕によつて、当日の晴天と相まつてコンデションが整えられ、全町の町内、部落会のうち半数以上の四十五チームが参加予定時刻よりやゝ遅れて各控所前に整列し、明快な指揮者の号声によつて一中プラスバンドがかなでられ、豪快なノロシに意気高く入場行進が始められた。

国旗を先頭に町旗、一中校旗と続き役員団、それに各町内部落と続いて実に千五百名に達する厳粛にして興奮の押え得ない盛大な入場行進であつた。

県内では数少ないスタンド付きの一中グランド、三本の国旗掲揚塔に国旗、町旗、一中校旗がひるがえり全町四百余名が参加して華やかに行われたマスゲーム開会宣言と同時に百五十羽の全町平和の鳩が放され、加賀谷町長からは力強い挨拶があり、二百個の風船が秋空高く舞い上つてはて知れぬ青空に吸い込まれ、国体さながらの多彩な開会式であつた。

競技は比較的順調に進められたが、選手数が多いため繰出し、進行などは一苦労であつた。

種目では「清掃競争」や「豆入れ競争」の女子の競技が面白く、又「夫婦二人三脚」では各地区から夫婦の健脚が相集い肩をガツチリ組んで走る姿は実にほほえましい風景であつた。

更に午前中の最終種目として行われたケスゲームは全町四百余名の婦人によつて「生保内節、満月音頭」が華やかにくりひろげられ、満場の拍手を浴びた。

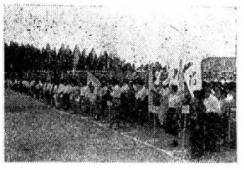
各チームの應援も多種多様の趣向をこらし番楽チンドン屋、弁慶まがいの應援団長も飛び出し和やかな應援風景で終始し午後四時盛況裡にその幕をとじた。

当日の成績は次の通り。

▼きよう技の部
優勝 上山内
準優勝 上樋口
三位 築地町
四位 野田
五位 西野
六位 高千
▼應援の部
一位 中村
二位 上山内
三位 高千 下山内

【写真説明】
全町民が明るい町づくりを…と町長の開会の挨拶

各町内ごとにプラカードやのぼりをかゝげて堂々の入場行進



参加町内部落区が入場行進を終えて整然と整列

矢場崎弓道クラブ員による弓道のみごとな公開演技

文字どおと夫婦一事となつてのおしどり二人三脚の熱戦ぶり

たのしかつた熱戦も終えて入賞町内部落区へ盛沢山の受賞

上水道年内に給水

各家庭への工事と加入申込みの手引き

町の上水道建設工事は、町民各位の理解ある御協力を得て、予定のとおり十二月給水を目標に着々工事が進んでおります。

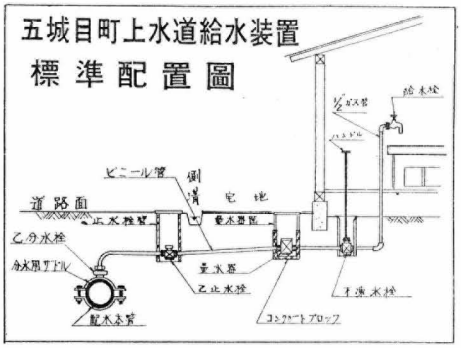
配管工事中最大の難工事である河川の伏越横断工事は、大川線と高崎線の二ヶ所で、連続降雨による増水になやまされながらも高崎線はこのほど完工しました。

配管工事は農村部からさきに着工して、稲の運搬、米の出荷などに支障ないよう段取りしたわけですが、労力不足から農繁期にかかつてしまい工事中は皆様に大変ご迷惑をおかけしたことを深くおわびいたします。

十月二十日現在で大川地区、高崎地区全域の配管が完了したので、このあと十一月一ぱいで五城目市街地と残る岩野雀舘の配管が施工されるわけですが今後よほどの支障がない限り今年十二月中に全域への給水が可能です。

その前に皆さんから加入申込をしていただき、配水本管から各家庭の中までの給水工事をするわけで、この工事費や手数料、毎月の水道料金などについては別項のとおりとなつています。

但し今年の申込みに限り特典として諸手数料（計五〇〇円）を免除いたします。今回加入されれば、それだけ有利ですからはやめにお申込み下さい。


五城目町上水道給水装置
標準配置圖

◆各家庭への給水工事

① 加入権利金のようなものは一切不要です。

② 各家庭の工事を引受ける業者は、町に登録された「給水工事指定店」の中から皆さんが選んでこう事の委託をする訳で、こう事費の算定は町の設計基準によつてなされるから、条件が同じであればこう事費が業者によつて高い、安いの違いはありません。近く町で指定店を定めてお知らせしますから、取敢ず加入の申込みをして下さい。

③ 給水こう事費は、およそ一戸平均六千円～七千円程度でこれは原則として前納となつていますが分割払いを希望の方は役場の水道係かこう事指定店へ御相談下さい。

④ 現在ホームポンプの水道設備のある家庭は屋内配管はそのまま使用できますから、それだけこう事費が少くなくなります。

⑤ 水道を取付けてから半年間は、町で指定したこう事店の責任保証期間ですから、今後故障等の場合はすぐ御連絡下さい。

⑥ こう事を施行するときの設計二〇〇円、材料検査一五〇円、竣こう検査一五〇円、計五〇〇円の手数料を納めることになつていますが、今年の加入に限り免除します。

⑦ 加入申込みは役場で受付けますが、今回だけ特に町内の町政協力員の方に御依頼しますから、申込書に記入してお渡し下さい。

専用給水装置

種別	料率	基本料金（1ケ月につき） 水量	料金	超過料金 1m3につき
一般用		10立方米迄	250円	30円
営業用	醸造清涼飲料用 工業用	100 〃	2,500	30円
営業用	上記以外の営業用	20 〃	600	35円
団体用	浴場用	200 〃	3,000	15円
団体用	学校病院	50 〃	1,000	25円
団体用	官公衛団体医院	20 〃	500	30円
プール用		1 〃	10	10円
工事その他 一時使用		1 〃	100	100円
私設消火栓（演習用）		1分間につき	15	15円

水道料金とメーター使用料

① 給水量はすべてメーターで計量し、それによつて料金が計算されます。料金表は次のとおりです。

② 共用栓は町営住宅街など、特にその地域の住民から要望があつて、町長が認めた場合に限り設置されます。

③ 水道メーター使用料（1ケ月当り）

口徑	13粍	40円
〃	16〃	60〃
〃	20〃	70〃
〃	25〃	80〃
〃	30〃	110〃
〃	40〃	160〃
〃	50〃	370〃
〃	75〃	650〃

料金表にある通り普通一般の家庭では一〇立方米まで二五〇円です。一〇立方米とは五十五石の水で、一日当り約一石八斗ですから充分使えることになります。

④ 月の中途に水道の使用を始めるときの料金は給水量が基本水量の半分以下のときは基本料金の半額、半分以上のときは一ヶ月分とみなして算定することとします。

共用給水装置 1ヶ所につき

基本料金 1ヶ月につき 水量	料金	超過料金 1m3に付
10立方米	250円	25円

⑤ メーターは町で一括購入して貸付料金は次のとおり但し御希望によつて皆さんの自費で設置することもできます

町政協力員の方が申込みを取纏めにお伺いする時期は十月三十日頃ですなお御不明の点は、役場水道係へ御問合せ下さい。

みんなの幸福を守る
赤い羽根にご協力下さい

赤い羽根の共同募金運動が十月一日から三ヶ月間全国いつせいに行なわれています。

共同募金運動は今年で十四回目で、毎年多くの成果をあげて社会福祉事業の発展に役立つています。

五城目町には二九七、五八八が割当されました募金奉仕者の婦人会役員がお伺いしましたらよろしく御協力下さいますようお願い申し上げます

尚昨年度の大口寄附者をお知らせ致します。

四、七三五円
学校五城目高等一同
三、五〇〇円加賀谷力司
三、〇〇〇円渡辺彦兵衛
二、〇〇〇円菊地 鶴松
一、八〇〇円菊地 ユキ
一、七〇〇円坂谷八十治
一、三〇〇円渡辺 網彦
一、二〇〇円菊地徳一郎
一、二三〇円加藤 淀吉
一、〇〇〇円川村儀兵衛
一、〇〇〇円長谷川定作
一、〇〇〇円宮田清三郎
一、〇〇〇円山田 榮藏
一、〇〇〇円秋山与一郎
一、〇〇〇円
秋田銀行五城目支店
一同以上

産業まつり

11月2日〜5日（4日間）

開幕近い産業祭

〜会場は五城目小学校〜

本町の産業振興も新町建設の推進とともに順調に進んでいるが、農業は年とともに近代化の必要に迫られ木工関係においても量産と販路の開拓などの諸問題が今後の課題となつており、これらを総合的に結びつけながら、産業の振興をはかるため来る十一月二日から五日までの四日間五城目小学校を会場として産業祭を開催することゝなつた。

種類は審査の対象となる農産、物産、林産、料理の四部門をはじめ、農業改良普及展、林業展、農機具展、農業共済展、町政展、防火防犯展、文化展のほか、明年当町に国体を迎えるため特に国体みやげ展を会期中行うことにした。

又この会期中に農業体験発表並に技術検討座談会や商工懇談会を催し、農家の俵装技術向上のため俵編競技会などを行い参集者の慰安としては郷土の生んだ名人鳥井森鈴一行のアトラクション、五高、五一中のブラスバンド演奏会などを催し、でき秋を飾る多彩な行事がくりひろげられる。

各部門の展示方法は次のようになつている。

◇農産の部

農産物は地域によつてそれぞれ特色があるので、適地適産を今後の指導方針として、地域の特性を充分活かした展示を考えてゆきたい。

従来の農産物の外本年は特に玄米の品質改善の意味から玄米品評会も行うので、この種の出品を希望している。

出品点数の多いほどその効果も大きいから全町から多数出品されることを期待している。

◇林産の部

民有林全般について立派な林相を作るには正しい保護撫育によらなければならないし、一方造林意欲をたかめるためにも他のものと比較検討することが最も効果的であるので造林、間伐の品評会を行い、特に本年度樹苗品評会も同時に行う。

出品申込により二十一日から審査をはじめているが、会場には写真を展示する。樹苗は現物を陳列して審査をする。

なお本年は森林組合、営林署、五高の協力を得て図表、写真、その他の資料による林業展も大々的に併設する。

一望三万石

青く澄みきつた空が限りなく続きなにひとつさえぎるものがない。

その地平線から拓けた潟岸平野は、六年続きの大豊作と云われる稔りにふくれあがつた稲架が視界いつぱいに広がり、整理された畦に隊伍を組んだ整然さは見事である。

四月の種蒔きからはじまつた農作業は耕起、田植、除草それに病虫害防除と朝に夕に休む暇もなく続けられた耕地一千町歩三万石の収穫と云われる結晶の稲架一本一本に束の一粒一粒に労苦がしのばれる。

この労苦をしのぶかのように右手に突起した森山は秋の錦を席飾り、点在する村落は競つて葉の色を染め、やがて夢の田園都市と化する八郎潟の湖面には網をひく白帆船が点々と遊ぶさまは、はるかに煙る寒風山ととけ合つてまさに秋たけなわの一幅の田園風景画の景趣を添える

やがて稲架が一本一本引き抜かれ、取り入れが終ると豊作七年目に備えて排水溝を掘るフォークの姿が見られるのである。春夏秋冬一日とて休まる日のない農民の姿を胸に描きながら西に陽の傾いた西野山を下りる。

◇物産の部

家具、建具、桶樽、下駄などの木工品をはじめ打刃物、菓子類の本町特産品を展示する。その他製材品、張柾、フローリング等の参考品の外、特に明年当町に国体を迎えるため、本町特産のみやげ品の陳列なども行う。

◇料理の部

食生活改善の一つとして一食三十円以内の日常食（料理）を一般から出品させる。出品者は材料名と作り方を簡単に書いた表を添えること、たゞし調理を業とする者は出品出来ない。

◇その他の展示

①農業改良普及展
新しい農業技術の模型や資料を会場内の一室に展示する。

②農機具展
一流メーカーの農機具を校庭に展示実演会を催す。

③農業共済展
農業共済に関することや家畜管理関係の資料を展示する。

④町政展
最近の町政の動きを拡大写真と図表によつて展示する。又期間中国民年金の相談所を設ける。

⑤防火防犯展
火災予防と犯罪防止に関する写真と現物資料を展示する。

⑥文化展
一般並びに児童生徒の作品や写真、生花など豊かな郷土の文化展を会場内に設ける。

本町家具東京へ進出

見本市で及第点貰う

十月一日から三日まで東京都立産業会館において開催された秋田県家具建具の東京見本市は予想以上の収穫をおさめて終了した。

このたびの催しは県としても町としてもはじめてのことで、先の見通しがなく非常に不安をもつてのぞんだが、出品された県産家具建具はいづれも優品で都内の関係官庁一流デパート、問屋の求評会では一應の及第点を頂戴し、県は勿論出品した各メーカーもホッと胸をなでおろした感であつた。

本町からは石井、原田、秋山、長谷川、斉藤、京野、高桑の七氏が洋服ダンス五点、整理ダンス三点、飾ダンス一点の計一三点、建具は永井（秀）菊地木材、嵯峨木工の三氏から硝子障子六点の出品であり、建具については既に中央との取引が相当数に達しているが家具については一應の及第点を貰つたとはいえいかにして中央とのつながりをつけるかが大きい問題であつたが、秋田県出身の千葉大教授、成田寿一郎氏、東横デパート設計部の小畑次郎氏、秋田木工社長、県東京事務所長などの斡旋で三越本店へ八点、東屋商店（東京一流問屋）へ五点の取引（依託販売）に成功したことは本町家具業界にとつては東京進出の緒をつけたことで望外の収穫であつたといい得る。

そのほかこれも東京一流の問屋である大倉商店とは店主直接の交渉で整理ダンスの見本を送ることに成功し、現在組合で製作中でありこれがパスすることによつて今後相当量の取引が可能である。

俵編競技会と農業、商取引座談会

①俵編競技会
供出米用の俵は年々豊作にめぐまれ数量を増しているが、品質改善をはかるため各地区五名づつの選手によつて会場内で製俵競技会を行う。

②農業体験発表並に技術検討会
米多収穫競作会予選通過者と一般農家を対象にして上位入賞者から年間を通じた栽培技術を発表を行いこれに対して技術を反省し今後の経営改善のため技術検討座談会を開催する。

③商取引懇談会
阿仁道路の完成により阿仁部との物資交流は大いに期待するものがあるので、この機会に町商工会の協賛を得て両町関係者の懇談会を設け、今後の商取引の基盤を築きたい。

鳥井森鈴一行と

五高 五一中ブラバン演奏

会期中三日、四日は郷土の生んだ名人鳥井森鈴一行の民謡、万才、手踊等を行うほか、五高、五中ブラスバンドによる特別演奏も行い産業祭に花を添える。

会期と行事

十一月二日から十一月五日までの四日間五城目小学校を会場として日程は次のようになつている。

◆十一月二日（水曜）
◎出品物の受付陳列
農産物については馬場目富津内、内川、大川地区は各農協へ。五城目、面潟地区は直接会場へ搬入すること。
物産その他の出品物はすべて会場へ直接搬入すること。

◆十一月三日（文化の日）
◎審査（午前）
◎一般観覧（午後）
◎農業体験発表並に技術検討座談会午後一時半
◎五中ブラスバンド演奏午前十時　鳥井森鈴一行午前十一時から二回公演
◎森山登山競技会午前九時　一時半の二回

◆十一月四日（金曜）
◎一般観覧
◎俵編競技会午前十時
◎商取引懇談会午前十時
◎五高ブラスバンド演奏午後一時

◆十一月五日（土曜）
◎一般観覧
◎褒賞授与式午後一時半
開場時間は毎日午前八時半から午後四時までとする。

出品要領

▼農産の部
水稲　一本植又は数本植十株で一点
蔬菜　大根類二本一点　白菜甘藍類二株一点　葱二十本一点　玉葱いも類五個一点　里芋　芋五合　株は二株一点
但しごぼう人参は審査用として一本多くする
雑穀　一升　一点
玄米　一升　一点
果実　五個　一点
農産加工品　加工品（瓶詰）二ヶ一組一点　サイレージ五百匁（箱入）一点
蜂蜜　二ビン一組一点
鶏卵　五個　一点
叺類　五枚　一点
莚類　十枚　一点
玉縄　二玉　一点
米俵　二俵　一点
炭俵　五枚　一点

▼物産の部
家具類　洋服ダンス　和ダンス　椅子　ベビーダンス　事務用机一か一点
建具類　障子　フスマ二枚又は四枚　一点
桶類　タライ　飯ビチ　洗桶　水風呂　一個又は一組　一点
打刃物（鋸を含む）ナタ鎌　包丁　なた　鍬
山林具　一ケ　一点
履物類　一足　一点
柾類　手割　機械割　二把　一点

農家の皆さん
充分な乾燥で
よい郷土米を
供出しましよう.

秋の家畜市場

29日30日の二日間

本年最後の秋季仔牛の市場（セリ）が、十月二十九日、三十日の二日間杉ケ崎の家畜センターで開かれます。

出場名簿は十月二十五日までに役場の経済課へ提出することになつていますが、当日は一〇〇頭ほど出場して相当混雑を予想されるので、名簿は期日までに必ず出すようにして下さい。

日程は次のとおりです
▽29日＝五城目　大川　内川　富津内　八郎潟　井川
▽30日＝馬場目　昭和　飯田川　男鹿地区の一部
なお引付けは二日間とも午前八時半までとなつています。

〃無火災町の達成近し〃

秋の防火週間を実施

十一月四日から十日迄の一週間は秋期防火週間で多彩な防火運動が実施されます。

臨付、放水、注水の諸訓練や防火座談会、防火講演会も予定されています。

又消防署員の特殊建築物と公共建物の立入検査消防団員の一般家庭の予防査察（五城目地区は消防署員）が実施されますが、今年は特別入念に調査して各戸の成績が記録表に記録されますから、いろり、かまど、風呂場その付近やストーブ、煙突又は電気器具、ガス器具などの取扱いについては特に注意をお願いします。

今春県知事より無火災モデル町に指定以来皆様の絶え間ない御協力によつて火事という声をほとんどきかずにいる事は本当に喜ばしい限りです。

消防関係者がいくら張り切つても皆さんの協力がないと効果があがりませんから、今後とも尚一層の御協力を御願いします。

なお十月十日からは夜のサイレンを午後八時に吹鳴して居ります。

このサイレンが鳴つたら更にもう一度残火の有無をたしかめてやすんで下さい。

「だして泣くより
笑つて用心」

公民館だより

第4回 全県森山登山会開く

11月3日五小前スタート

恒例の行事の一つとして広く一般民から関心をよせられている森山頂上の「希望の塔」を目指して駆けのぼる登山会の実施要項がこのほど次のように決定した。

なお当日は「文化の日」と「産業祭」にあたっているので、その盛会が期待されている。

◇開催要項

一、趣旨　広く世に親しまれ限りない希望を湧かす森山頂上の「希望の塔」を目指して駐けのぼる群像は、やがての郷土を担う姿でありたくましい力の躍動であつてほしい。

二、日時　十一月三日午前九時半まで受付十時開会式十時半出発

三、場所　集合出発点＝五城目小学校前　決勝点閉会式＝森山頂上

四、主催　五城目町体育協会

五、後援　五城目町　五城目町体育指導委員会　五城目町中央公民館　希望の塔建立有志会

六、競技種目・方法

◎個人1中学校生徒　2一般（高校青年会を含む）

12とも一回ずつとし山の登り口一ヶ所を指定して山頂への到着順で順位を決定する。

◎団体（一般）一チーム四名編成として決勝点に入つた四人の合計時間によつてチームの順位を決定する。

七、授賞

▽個人1中学生十位まで優勝楯（知事賞）2一般十位まで優勝楯（県議会議長賞）

▽団体一般五位まで、優勝トロフイー（石田労相賞）

ほか賞状、賞品、参加賞を与える。

八、申込先・期限　五城目町中央公民館へ十月三十一日まで申こみのこと。

九、その他くわしいことについては当日出発点において説明します。服装、履物は自由とする。

雨天の場合は中止します。

今年度敬老会 有意義に終る

町と各地区公民館主催による今年度の敬老会は九月十五日「老人の日」を中心にして、各地区毎に盛会を極め、該当者総数五六八名に対して、実にその八割に近い四三七名の出席者で、有意義に終了した。

先ずそのトップを切つて九月十四日は馬場目地区（馬場目杉沢）翌十五日の「老人の日」には五城目地区と大川地区、続いて十六日には富津内地区と内川地区の六会場に別れて実施したが、各地区共公民館関係者と、婦人会役員等によつて準備と当日の式典が進められ、その趣旨である「今日の豊かな郷土、五城目町を築いた老人各位様を各地区毎に御参集ねがつて、これを機会に深い敬意と感謝の意を示し、長い人生の足跡を回顧しながら生き抜く喜びを共に語り合う楽しい日としたい」気持にそうて進められ式順は、

一、開式の辞（公民館主事）

二、式辞（公民館長）

三、寿状及び記念品授与（町長から）

四、鳩杖贈呈（町長から）

五、県記念品贈呈（町長から）

六、花束贈呈（小学生によつて）

七、来賓祝辞（町長、議長、文教社会委員長、教育委員長等の中から）

八、老人代表謝辞

九、万才三唱（教育長等）

一〇、閉式の辞（公民館主事）の順で進行し、式典終了後幼稚園児、小学生、中学生、定時制高校生、青年会婦人会等による余興が盛り澤山に披露され、更に婦人会員の真心こめた手料理に舌づつみをうちながら、中には老人代表の謝辞に於いて、神がかりの「人生論」をぶつやら、かくしやくたる女老人の、昔をしのばせる美声にて唄いまくるものもあり、はては昔の男女同級生が、歓談に余念のない風景など、誠にほほえましい敬老会であつた。

今年は出席の具合と共に、みんな揃つて健康そのもので、祝辞にあつた戦後の人生六〇年から、更に七〇年に延びつつある激励論に共鳴しながら来年又元気で会うことを口々に、六年連続豊作の田園の彼方に、果ては又その景気のざわめきのする街々に、心和やかに家路を辿るのであつた。

老人各位様の健康と幸多いことを祈るものである。

【写真は和やかな敬老会風景】

【町長へ句を送る老人】

町民の歌 音頭を決定

町章は入選該当なし

かねて広く一般から應募しておりました町章、町民の歌、新五城目音頭は應募総数七十九点の中から厳選した決果このほど次のように決定をみたなお町章については、ずばぬけた独創的な作品がなく、結局入選該当は見合せることになつた。

入選作品および入選者は次のとおりである。

▽町章　入選なし

秀逸＝五城目町御藏下石井良之助（農業）

佳作＝五城目町新丁中村　幸夫（教員）

五城目町紀久榮町斉藤　要蔵（技師）

▽町民の歌

入選＝五城目町平ノ下佐藤敏英（公務員）

佳作＝五城目町上町藤原征二（こう員）

五城目町野田加藤　茂（公務員）

▽新五城目音頭

入選＝五城目町昭辰町三浦清三郎（公務員）

佳作＝五城目町高田小玉ハルエ（農業）

五城目町中川原熊谷　直（公務員）

なお町民の歌、新音頭は現在中央の作曲家、舞踊家によつて作曲、振付がすすめられており、これの発表披露会は来年一月一日の名刺交換会において、盛大に行う予定である。

町民の歌

一、いそうら（磯浦）の昔を継ぎて新しき心の集い幸多き　五城目町よ　あゝわれら　手をとりあいて　ともしびを高くかかげん

二、はるかなる樹海のうねり　山幸の恵みもあつく　豊かなる　五城目町よ　あゝわれら　いざ声あげて　建設の歌を唄わん

三、西のかた湖拓け　連なるはみどりの大地　たくましき　五城目町よ　あゝわれら　足おとたかく　限りなき希望に生きん

新五城目音頭

一、五城目よいとこ森山に　一度くる人二度となる　さあさあ登ろう　二人連れ　二人連れ

二、五城目名物大市場　キノコ魚コつみあげて　アネチヤ明るく　声かける　声かける

三、盆はたのしや輪になつて　あの娘浴衣に紅の帯　おどり浮き浮き　夜が更ける夜が更ける

四、五城目木の町酒の町　荷積みの唄もはずんでる　広い田圃に　こがね波　こがね波

五、小倉なめたら湯のけむり　今日も逢う瀬のたのしさよ　山のおばこの　あで姿　あで姿

昭和35年度 成人名簿近く調製

未登録者は届出を

中央公民館では来年一月十五日の「成人の日」の成人該当者名簿の調製を近く行うことになりました。

成人該当の年令層は移動が激しく本籍が五城目町にあつても進学、就職見習い奉行、その他の事情などによつて他出している者、又他町村から来ている者、五城目町民であつても役場の「住民登録簿」に未登録の者などは名簿にのらないので、このような人は十二月二十六日の締切前に届け出下さるよう望んでいる。

なお三十五年度の成人の該当者は昭和十五年一月十五日以降同十六年一月十五日までの間に出生したものとなつている。

農業の多角経営を学ぶ

国内研修に参加して

八月十五日から九月十四日までの一ヵ月間にわたつて、国内研修がおこなわれました。

これは農業を中心として新しい農業と取りくんでいる国内の先進地へ仂きながら学ぶもので、本県から二十五名（内女子九名）がこれに参加し、石川県へ二名、長野県へ十五名、富山県へ八名とそれ〴〵の農家に分宿して、そこの家族と生活を共にしながら学んできました。

私は富山県のと波市、舊東船若という村（農家戸数三百十一戸）へ入つた。

研修期間中の半分ほどは村でおこなわれている各種の会合に参加し、青年会部落会などを通じて数多くの人々とその部落民と変りなく語り合いをしました。

こちらでは来年おこなわれる国体を前にして、いろ〳〵県民性のことが論じられておりますが、富山国体を成功させた県民性をいうならば、非常に議論ずきであるということゝ、親切味があるということが強く印象づけられました。

これは決して私をお客あつかいにしての親切味ではなく、誰へだてない心からの親切である。

部落に入つてまず目にとまることは、農家の一戸一戸が点々と散在し、どこの家も八十坪以上という家ばかりである。

私のお世話になつた家は百三十坪もあり、お寺を思わせる程であり、しかも仏壇の立派さにはおどろくばかりであつた。

聞くところによればどの家も佛壇には多額の経費をかけているとのことである。

これも信仰あつい富山県民性の現われであり、親切な態度もやはりこのへんからでているものと考えます。

しかしこうした一面をもちながら農業経営の合理化には目をみはるものがある。

ここの農家は三百十一戸中農業はわずか六三戸という具合で、兼業農家が圧倒的に多い。

しかも大家畜は役牛七頭、馬八頭という状態で他は養鶏、養豚が大規模な経営ですゝめられている。

耕地面積の平均反別は九反ということである。

私の見たAさんの所では二千羽の養鶏をしており、年収一五〇万の目標で昨年末で九〇％の達成にこぎつけたそうです。

又二十一才になるBさんは豚百五十頭を飼い年収百二十万の目標とのことであつた。

又共同経営化にしても高岡野村というところでは一万羽養鶏をしており五年後には五万羽にする計画をたてゝおられるとの事であつた。

又Cさんは水田一町歩に裏作チューリップの球根を植付し、百万球を突破したと聞かされました。

こうしたたくましいスケールのある目標をかゝげ理想農村建設、現代農業への歩みがつづけられていることに深い敬意と学ぶべき点の多きを知りました。

こうした農業経営に対する根底は、歴史的な視野に立ち、日本農業のゆくすえを、これらの動きに対していかに鋭敏であるかがうかがわれてならなかつた。

若い人が経営の主体者となり、一家がそれ〴〵の立場を良く理解し、施設投資に対しては思い切つた措置を行つている。

私には驚歎の連続であつたが、もはや驚きだけを胸にとゞめておくことは出来ない。

明日の農業のために思いは大きく、実行は着実にこれらの問題ととりくまなければならない時であると思います。

馬川青年会　鉱岡市之助

☆　☆　☆

国体秋季大会 本町から五名出場

三十五年度国民体育大会は来る二十三日から熊本県において開かれるが本町から次の五選手が県代表として出場することになつた。

▼陸上二十キロ

青年男子　伊藤　喜造（秋田市役所）＝五城目

▼バスケットボール

女子一般　鳥井　幸子（敬愛クラブ）＝大川

▼軟式野球

準硬式　荒川雄一郎（相互銀行）＝五城目

▼ラグビー

社会人　小林　清（秋田市役所）＝五城目

▼卓球

一般女子　藤井　良子（昭和女子大）＝五城目

青森－東京駅伝 県代表に四君

大原次夫（五城目郵便局）

加藤芳男（浦横町）

伊藤喜造（秋田市役所）

草皆茂明（金農高生）